

被災地の一日も早い復興を願いながら、できることを粛々と行なっていきたいと思えます。

平成30年10月の新設住宅着工は83,330戸で、前年同月と比較すると、貸し家は減少しましたが、持ち家と分譲住宅が増加したために、全体で0.3%の増加となりました。先月の減少から再びの増加です。

季節調整済み年率換算値は950,000戸。前月比0.8%増で、3か月ぶりの増加です。

持家は25,949戸で前年同月比4.6%増、先月の減少から再びの増加です。

貸し家は35,225戸で、7.3%減、2か月連続の減少です。

分譲住宅は21,394戸で9.2%増、3か月連続の増加。

内、マンションは8,604戸、14.9%増。3か月連続の増加。

一戸建て住宅は12,556戸、5.9%増、7か月連続の増加。

地域別では、首都圏対前年同月比5.7%増、中部圏3.4%増、その他地域は2.7%減です。

近畿圏は、対前年同月比5.5%減です。

近畿の府県別対前年同月比は、滋賀33.9%増、京都4.3%減、大阪11.0%減、兵庫1.3%減、奈良17.3%減、和歌山8.2%減でした。

東京は対前年同月比4.4%減、愛知は7.7%増です。

民間非居住建築物は、前年同月との比較では、事務所と店舗は減少しましたが、工場と倉庫が増加したので、全体で増加となりました。

全建築物の着工床面積は、1,160万m²で、前年同月比0.0%増です。

3か月ぶりの増加です。

民間非居住用の事務所は35万m²で前年同月比24.8%減、3か月連続の減少。

店舗は37万m²で5.5%減、先月の増加から再びの減少。

工場は87万m²で18.3%増、5か月連続の増加。

倉庫は101万m²で43.4%増、7か月ぶりの増加。

全建築物の近畿の府県別対前年同月比は、滋賀4.2%減、京都10.1%減、大阪14.1%減、兵庫18.9%増、奈良14.2%減、和歌山22.7%増でした。

東京は対前年同月比23.0%減、愛知は8.7%増です。



材木、合板ともに、全般に品薄傾向になっています。



環境対策の点からも、木材は循環型の再生可能な資源です。燃やされない限り、木材は二酸化炭素を体内に固定し続けます。新たに植樹することにより、若木のCO₂吸収量は活発化します。木材を使うこと自体は、決して森林破壊にはなりません。

仮設材に使用される木材も、単なるゴミはならず、木材チップなどに再利用されています。

木材を多くご利用いただけることは、環境を良くするという事をご理解いただけたら幸いです。

NO. 1 仮設材について

仮設材の流通在庫では、矢板関係が品薄の状況です。リン木も少なくなっています。型枠用合板も品薄状態で価格上昇が続いています。

横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmは在庫しています。

栈木は仮囲い用の仮設栈(栈木2等品)をご用意しています。

リン木は桧・杉材や米樫材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。

養生ベニヤはNONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。



NO. 2 米松梁材について

米材の入荷量はまだ少ない状況ですが徐々に増えてきています。価格面は横ばいです。



NO. 3 外国産構造材について

ホワイトウッド材の流通在庫は3m4mともに少ない状況で、現地生産の減少によりオーダーが予定通り入荷しない状態です。この傾向は恒常的になりそうです。

米松羽柄材も依然流通量は少ない状況ですが、少しずつ増えつつあります。

ロシア赤松材も依然として良品の入荷量が少ない状況です。特に3mの在庫がひっ迫していま



NO. 4 国産構造材について

西日本豪雨等の影響で、原木出材量が減少。杉KD柱材や桧土台は不足感が増えています。

国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思えます。

そして、国産材の域に留まらず、地域材を積極的に使っていこうという気運もあります。

知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心に出ています。

弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。

特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。

公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。

NO. 5 造作材 米樫無節・上小節材(粗木)について

別注品対応をしています。



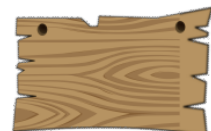
NO. 6 無垢材について

建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。

樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が少なくなっています。

NO. 7 積層材について

積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。



NO. 8 内外装下地材について(ベニヤ・ボード等)

引き続き、ラワン合板はアイテムによって品薄状態が続いています。価格は上昇しています。

針葉樹合板の価格は横ばいですが、流通在庫は少なくなってきました。

パーティクルボードは依然として流通在庫がなく、割り当てのような感じです。少し光明も見えだしたかの様相もありますが、まだこの状況は続きそうです。

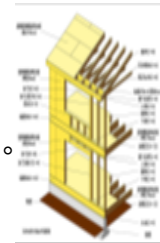
ケイカル板は、5mmに代わって6mmを在庫しています。

台風21号による復旧作業で、ケイカル・フレキが品薄状態です。

NO. 9 内装仕上げ材について(建材メーカー商品等)

パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。

特に、内装ドア、造作材、床材などの内装建材のサービスが充実しています。



NO. 10 断熱材関係商品について

グラスウールの在庫状況は安定していますが、ロックウールは少なくなっています。

NO. 11 養生材について

養生材の販売強化に努めています。



NO. 12 接着剤について

接着剤も値上げ傾向です。

NO. 13 金物・現場備品について

販売強化に努めています。



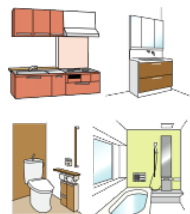
NO. 14 加工費について

加工に強い会社を目指しています。



NO. 15 各建材メーカー商品について

システムキッチン・ユニットバスなどの水回り設備機器商品の納期は、各メーカーとも安定。



大阪府の補助金事業「木のぬくもり推進事業」

民間の幼稚園や保育園、認定こども園などでの「木育」を推進するために、施設の木質化を図っていかうという事業です。

山忠木材は、この事業にまじめに取り組んでいます。





地産地生 — 地域材

大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

国産材・地域材志向のお施主様のお役に立ちます。

地元愛のために活動しています。



福祉

健康福祉用品・介護用品を販売しています。

介護保険適用特定福祉用具販売事業者です。

介護用品レンタルも始めました(介護保険適用外)。

介護保険適用事業所 **たろうの店 きごころ**

「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」 事業所番号2772701435



安らぎ — 災害への備え

住まいの健康チェック



思いやり — エコロジー



日本の和 — 和の商材



日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、

優しさと安らぎと思いやりをテーマに

地域の福祉や環境に貢献できるような、

まじめな会社と言われたい。



ご用命をよろしくお願ひ申し上げます。

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784

